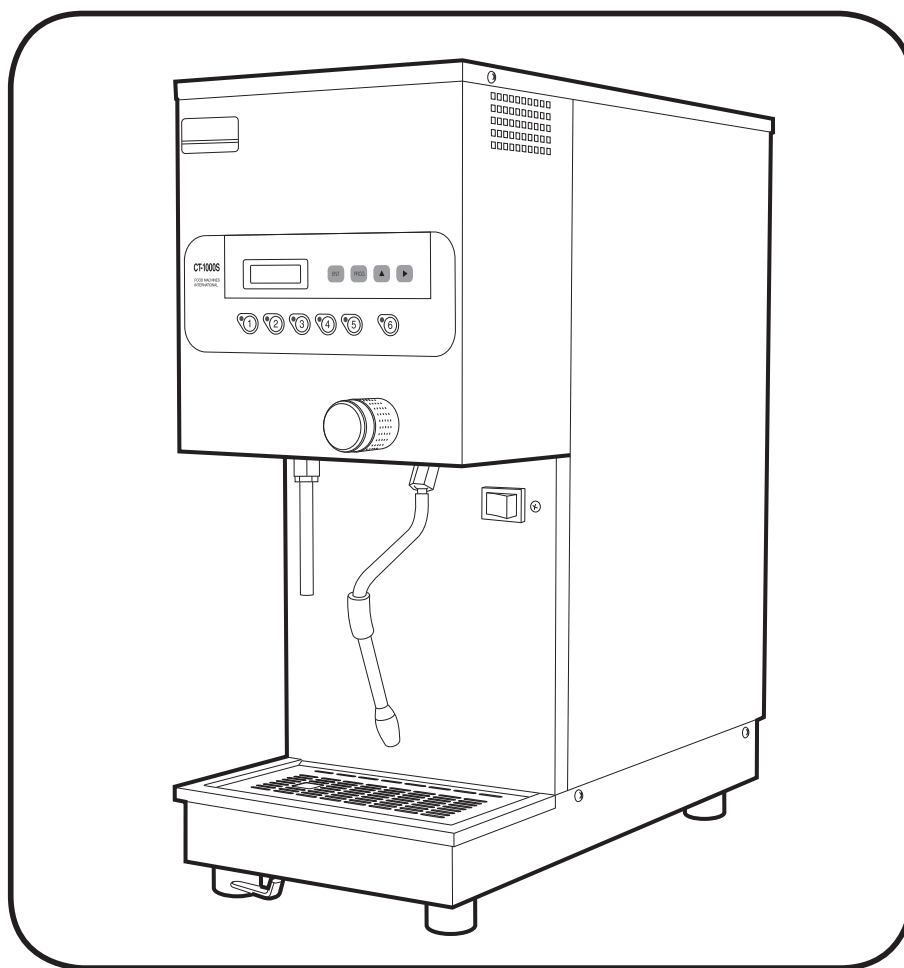


## CAFÉ-TRÔNE®

お客様用

## — 取扱説明書 —

型式：CT-1000S(S)（業務用）



- このたびは、当社の熱湯・蒸気ユニット「CT-1000S(S)」をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになられるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。  
必ず「お買い上げ日・お買い上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

# 目 次

<b>本書の構成</b> .....	1	<b>4 据え付けについて</b> .....	30
<b>本製品をお使いになる前に</b> .....	2	本機の据付時には必ず守ってください.....	30
安全上のご注意.....	2	据付工事.....	32
本機の使用にあたって必ず守ってください.....	3	配管用部品.....	32
仕様.....	5	据付台.....	32
付属品.....	5	据付場所.....	33
別売品.....	5	水道.....	34
各部の名称とはたらき.....	6	電源.....	34
本 体.....	6	排水について.....	35
操作スイッチパネル部.....	7	<b>据え付け</b> .....	36
<b>1 操作のしかた</b> .....	8	レイアウト.....	36
本機の操作時には必ず守ってください.....	8	据付・接続.....	38
日常の操作の流れ.....	9	据え付け後の動作確認.....	44
電源の入れかた.....	10	<b>5 故障の原因と対策</b> .....	46
お湯や蒸気の取り出しかた.....	12	<b>商品保証書</b> .....	49
お湯を取り出すには.....	12		
蒸気を使って飲料を温める.....	13		
泡立てミルクの作りかた.....	15		
<b>2 お手入れについて</b> .....	17		
本機の洗浄・清掃時には必ず守ってください.....	17		
毎日の洗浄・清掃.....	18		
ドレンプレート、ドレンパンの洗浄.....	18		
本体外装の清掃.....	19		
<b>3 プログラムモードについて</b> .....	20		
プログラムの概要.....	20		
操作スイッチパネルについて.....	20		
熱湯定量取出スイッチの工場出荷時設定.....	21		
熱湯の取出量について.....	21		
好みのプログラムを設定する.....	22		
1回だけお湯を取り出すプログラムを設定する.....	23		
分割してお湯を取り出すプログラムを設定する.....	25		
熱湯温度を変更する.....	28		

# 本書の構成

## 本製品をお使いになる前に

本製品をお使いになる前に読んでいただきたいことを記載しています。  
「安全上のご注意」「仕様」「各部の名称とはたらき」を記載しています。

## ① 操作のしかた

本機の操作方法について説明しています。  
「日常の操作の流れ」では、1日のおおまかな操作の流れについて説明しています。  
その他の「電源の入れかた」や「お湯の取り出しかた」では、本機の操作方法について詳しく説明しています。

## ② お手入れについて

本機のお手入れについて説明しています。  
洗浄・清掃方法について記載しています。

## ③ プログラムモードについて

本機の熱湯定量取出スイッチをカスタマイズしたり、熱湯温度を設定できるプログラムモードについて説明しています。

## ④ 据え付けについて

本機の据付方法について説明しています。  
給水、排水、電気配線の方法について記載しています。

## ⑤ 故障の原因と対策

故障かなと思った場合にご覧ください。故障の原因と対策方法について記載しています。



# 本製品をお使いになる前に

## 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。




表示と意味は次のようになっています。

### 【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害※の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

### 【図記号の例】

 感電注意	△は、注意(警告を含む)を示します。 具体的な注意内容は、△の近くや中に絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令(強制)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込プラグをコンセントから抜く」を示します。

## 本機の使用にあたって必ず守ってください

本製品を  
お使いになる前に

 <b>警 告</b>	
<p>●漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動したときは、お買い上げ店に連絡すること 無理にレバーを『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。</p>	 連絡
<p>●異常時は電源スイッチを切り、本機専用電源も『OFF(切)』にしてすぐにお買い上げ店に連絡すること 異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。</p>	 専用電源切
<p>●機械内部の電気装置や配線に触れないこと やけどや感電の恐れがあります。</p>	 接触禁止
<p>●ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること 引火爆発し、危険です。</p>	 ガス栓閉
<p>●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理は行わないこと 異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災の原因になります。</p>	 分解禁止
<p>●改造は絶対に行わないこと 改造をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。</p>	 改造禁止
<p>●移設は専門業者か、お買い上げ店に相談すること 据え付け不備があると、水漏れ、感電、火災などの原因になります。</p>	 専門業者
<p>●廃棄は専門業者か、お買い上げ店に依頼すること 放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。</p>	 専門業者

 <b>注 意</b>	
<p>● <b>本機の上に重量物や水などを入れた容器を置かないこと</b> 落下してケガをしたり、こぼれた水などで電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。</p>	 禁止
<p>● <b>熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと</b> 熱でプラスチックが溶けたりして危険です。</p>	 熱器具禁止
<p>● <b>可燃性のスプレーを近くで使用したり、近くに可燃物を置かないこと</b> 発火の原因になることがあります。</p>	 可燃物禁止
<p>● <b>清掃するときや点検のときは、必ず電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にすること</b> 感電したり、ケガの原因になることがあります。</p>	 専用電源切
<p>● <b>製品にもたれたり、手をついたりしないこと</b> やけどや製品転倒によるケガの原因になります。</p>	 禁止
<p>● <b>電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと</b> 必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。</p>	 禁止
<p>● <b>一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にし、電源プラグを使用の場合は、コンセントから抜くこと</b> 発熱、発火の原因になることがあります。</p>	 専用電源切
<p>● <b>漏電遮断器は月に1回動作確認すること</b> 漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。</p>	 動作確認
<p>● <b>本機を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること</b></p>	 テープ止め

仕様

品名	熱湯・蒸気ユニット
型式	CT-1000S(S)
外形寸法	幅280・奥行555・高さ665mm (突起物を含む 奥行605mm)
電源	単相200V 50/60Hz
電流	13A
消費電力	2.6kW
熱湯温度	～95℃ 可変(プログラム入力)
熱湯取出	6種類
熱湯取出スイッチ	6種類
熱湯出口	固定ノズル
熱湯取出量精度	±5mL
熱湯取出能力	20L/h
蒸気栓	手動バルブ式
質量	25kg
昇温時間	約30分
水道圧力	0.15～0.74MPa
スイッチ類	電源スイッチ・熱湯取出スイッチ・PROGスイッチ・▶スイッチ ▲スイッチ
電源コード	長さ 2m 3心
本体外装	ステンレス鋼板
保安装置	安全弁・過昇温度防止サーモスタット

本製品を  
お使いになる前に

上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付属品

下記の付属品がそろっているかチェックしてください。

No.	品名	数量
1	取扱説明書	1冊

配管付属品は32ページに記載しています。

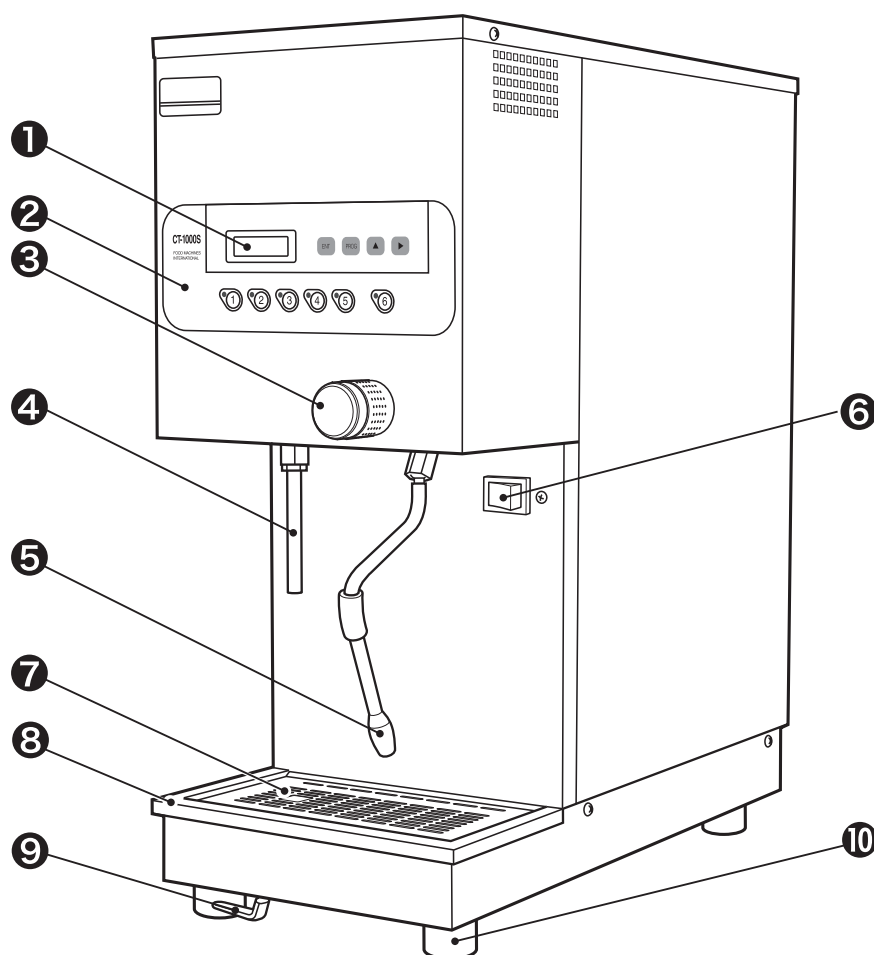
別売品

No.	品名
1	浄水器(エバピュア)

弊社が推奨する浄水器はエバピュアです。他社の浄水器を使用された場合、性能の保証ができません。

## 各部の名称とはたらき

### 本 体



#### ①ディスプレイ

本機の状態や設定温度を表示します。

#### ②操作スイッチパネル

ディスプレイや設定スイッチ、お湯の取出スイッチがあります。

#### ③蒸気栓ノブ

蒸気を出すときに回します。

#### ④熱湯ノズル

熱湯がここから出ます。

#### ⑤蒸気栓ノズル

蒸気がここからでます。

#### ⑥電源スイッチ

電源をON/OFFします。

#### ⑦ドレンプレート

お湯を取り出すとき、コップなどをここにおきます。

#### ⑧ドレンパン

廃液を受けます。

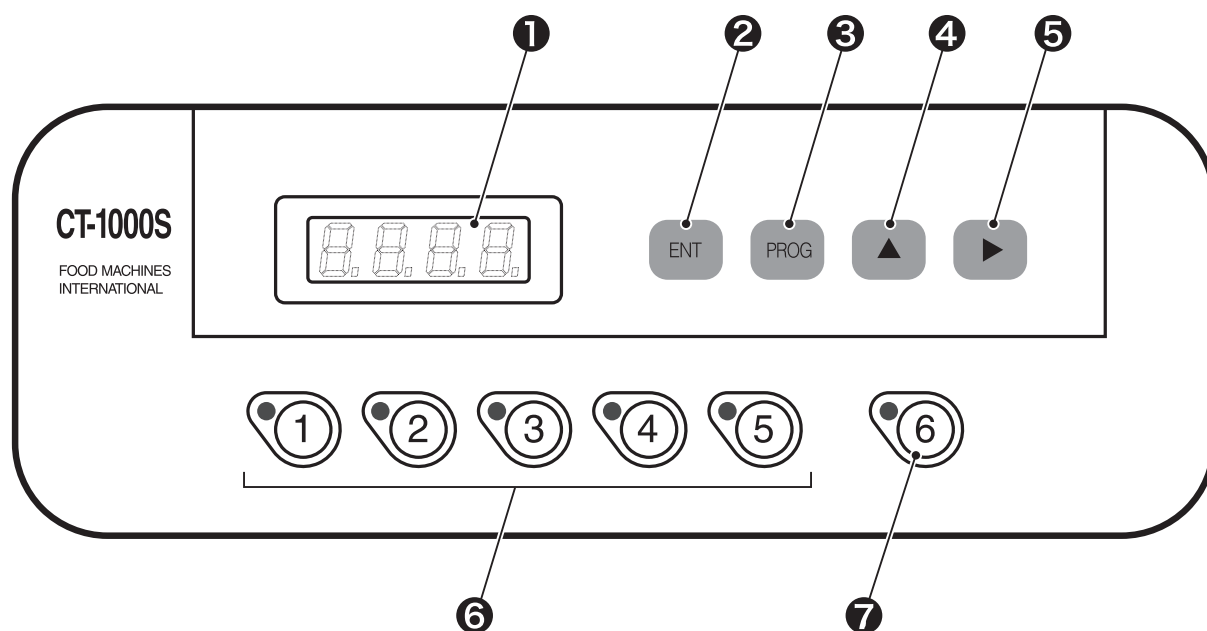
#### ⑨ボイラードレンレバー

ボイラータンク内の水を抜きます。

#### ⑩ゴム脚



## 操作スイッチパネル部



本製品を  
お使いになる前に

### ① ディスプレイ

設定された熱湯の温度、ボイラータンク内の水位の状態や、プログラムの設定内容を表示します。

### ② エンタースイッチ

プログラム設定の際、設定内容を登録します。

### ③ プログラムスイッチ

プログラム設定時に使用します。

### ④ ▲ スイッチ

プログラム設定の際、設定値を大きくします。

### ⑤ ▶ スイッチ

プログラム設定の際、カーソルを移動します。

### ⑥ 熱湯定量取出スイッチ

設定した量の熱湯が出ます。熱湯を取り出している間、スイッチ横のランプが点灯します。

### ⑦ 熱湯フリー取出スイッチ





スイッチを押すとお湯が出ます。もう一度押すと停止します。






# 1

## 操作のしかた

この章では、本機を使用する前の準備や、操作方法について説明します。  
使用前には、専用電源の確認、各タンクの水抜きなどを行ってください。

### 本機の操作時には必ず守ってください

 <b>警 告</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●濡れた手で電源プラグなど(電源プラグ使用の場合)電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと 感電の原因になることがあります。</li> </ul>	 濡手禁止
<ul style="list-style-type: none"> <li>●容器に蒸気、熱湯を取り出す場合、容器はドレンプレート上に置くこと 持ったまま取り出すと、やけどの原因になります。</li> </ul>	 ドレンプレート
<ul style="list-style-type: none"> <li>●蒸気栓ノブを操作するときは、蒸気ノズルがドレンパンに向いているかを確認すること やけどの原因になります。</li> </ul>	 ノズル確認

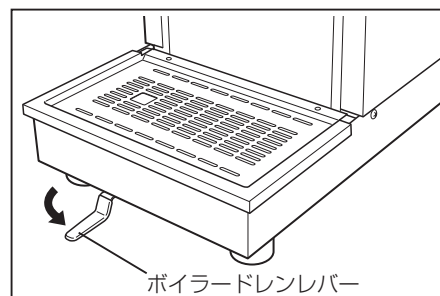
 <b>注 意</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●排水管に詰まりがないか始業時に点検を行うこと 排水管が詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。</li> </ul>	 排水点検
<ul style="list-style-type: none"> <li>●断水のときは、電源スイッチを『OFF(切)』にし、水道栓を閉めること 開けておくと通水時“赤水”が発生し、不衛生な水が機械に給水されます。</li> </ul>	 断水時閉弁
<ul style="list-style-type: none"> <li>●断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること 水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。</li> </ul>	 水の入替え
<ul style="list-style-type: none"> <li>●蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと やけどの原因となることがあります。</li> </ul>	 接触禁止

## 日常の操作の流れ

本機を使用した1日の作業の流れは次のようになります。

### ボイラータンクの水抜きを行います

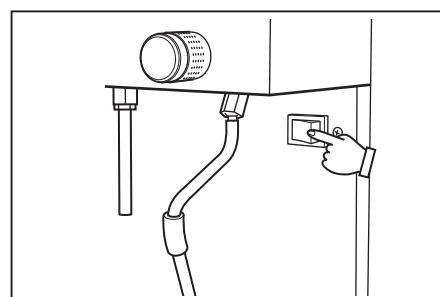
ボイラータンク内のスケールなどの溜まりを少なくするために、タンク内の水を毎日入れ替えることが必要です。



### 電源を入れます

「電源の入れかた」

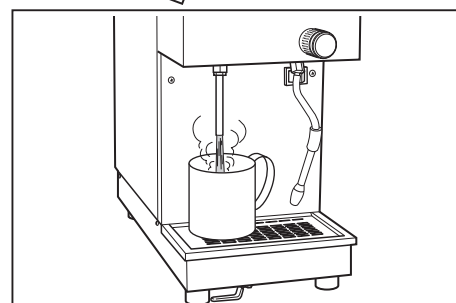
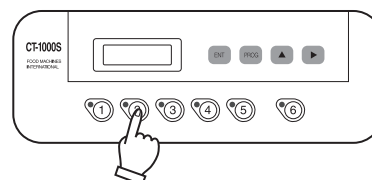
本機専用電源を『ON(入)』にして、本体の電源スイッチをONにします。自動的に給水を開始し、温水タンクとボイラータンクの満水後に加熱します。



### お湯や蒸気を取り出します

「お湯や蒸気を取り出しかた」

お湯や蒸気を取り出します。



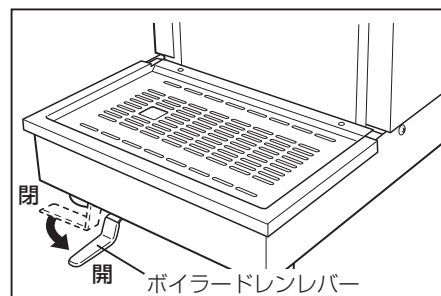
### 各部を洗浄・清掃します

## 電源の入れかた

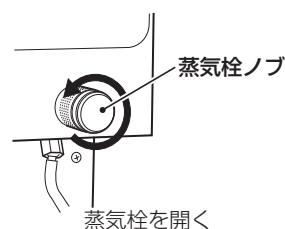
### 1 ボイラータンク内の水を捨てます。

- ボイラータンク内のスケールなどの溜まりを少なくするために、タンク内の水を毎日入れ替えることが必要です。

- ① 本体底面にあるボイラードレンレバーを手前に引いてください。  
ドレン栓が開き、ボイラータンクの水が排水されます。

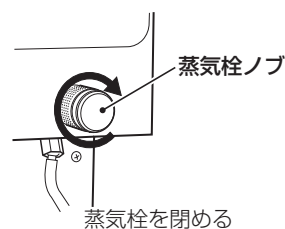


- ② 蒸気栓ノブを反時計方向に回してください。  
ドレン栓が開き、ボイラータンクの水が排水されます。

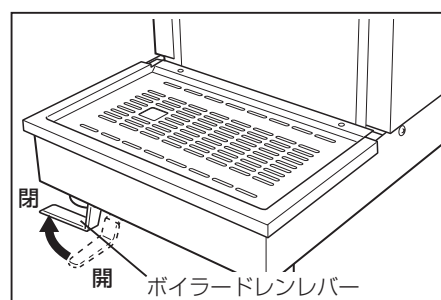


- ③ 約10分間、ドレン栓を開いたままにしてください。

- ④ 蒸気栓ノブを時計方向に回してください。



- ⑤ ボイラードレンレバーを戻してください。



#### お願い

- ボイラータンクの水抜きをする際は、必ず本体の電源スイッチをOFFにしてください。  
電源が入った状態で水抜きをすると、機械の故障の原因になります。また電源を切っても、終業直後などボイラータンク内の水温が高い状態で水抜きをすると、機械の故障の原因になります。さらに配水管の材質が塩化ビニールの場合は、配水管を損傷するおそれがあります。
- 水抜き後はボイラードレンレバーを確実に戻してください。

### 2 水道の元栓が開いていることを確認します。

### 3 本機専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を入れます。

### 4 電源スイッチをONにします。

- ① 本体右側にある電源スイッチをONにしてください。  
自動的に温水タンクとボイラータンクへの給水が行われます。

給水時間は約3分です。

温水タンクとボイラータンクが満水になるとヒーターが入り、加熱を開始します。

温水タンク(熱湯用)の昇温には、約10分かかります。

ボイラータンク(蒸気用)の昇温には、約30分かかります。

(昇温は水温により多少異なります。)

ディスプレイに表示されている「.」は、昇温中であることを表示します。

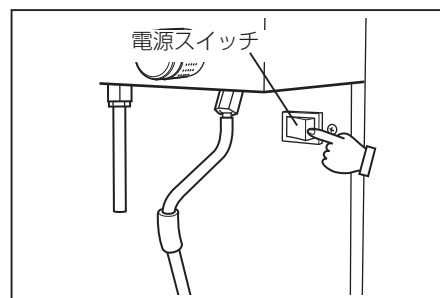
ディスプレイの左側の数字は、ボイラータンク内の水位の状態を表示します。

0：ボイラータンク内の水位が適量範囲に達していません。

1：ボイラータンク内の水位が適量です。

3：ボイラータンク内の水位が適量範囲の上限に達しています。

機械の使用中は、1または3を表示しています。



- ② 温水タンクの昇温が完了すると、ディスプレイに設定温度が表示され、熱湯の取り出しが可能になったことを表します。  
これでお湯の取り出しが可能になりました。



## お湯や蒸気の取り出ししかた

### お湯を取り出すには

#### 1 温水タンク温度状態を確認します。

ディスプレイに温度が表示されていることを確認してください。

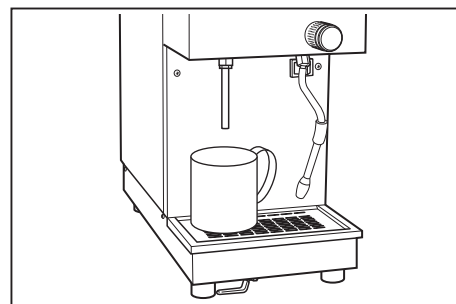
3. 95

温水タンクが昇温中の場合は、温度が表示されていません。

温水タンクの昇温は、給水開始後約10分かかります。

#### 2 熱湯ノズルの下にコップを置きます。

- 右図のようにコップを置いてください。

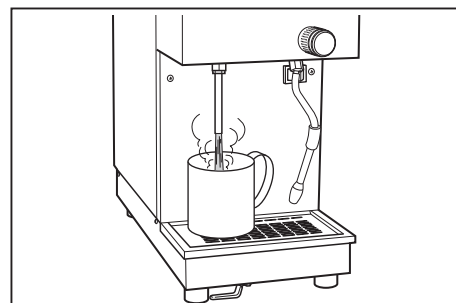
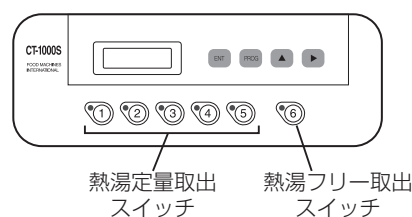


#### 3 お湯を取り出します。

- 熱湯定量取出スイッチ、または熱湯フリー取出スイッチを押してください。



- 一度に大量のお湯(例：水道温度20度で900mLを連続して取り出した場合)を出すと、加熱を開始するため、再びお湯が取り出せるまで90秒程度必要です。
- 各熱湯定量取出スイッチを押したときの熱湯の量をプログラムから設定できます。
- コップを温めるときなどにもお使いいただけます。多い量の熱湯を出す場合は、熱湯フリー取出スイッチをお使いください。



- 熱湯フリー取出スイッチで熱湯を出した場合、途中で止めたいときは、もう一度熱湯フリー取出スイッチを押してください。

## 蒸気を使って飲料を温める

蒸気を使って飲料を温めたり、泡立てミルクを作ることができます。

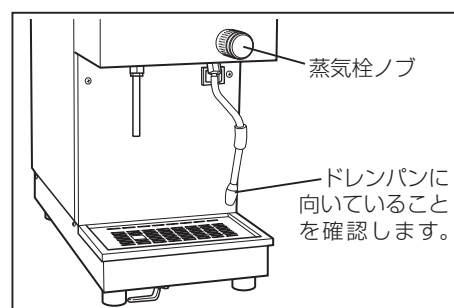
蒸気を出すときは、次のことに注意してください。



- 蒸気ノズルの先がドレンパンに向いていることを確認してください。
- 蒸気ノズルの先端に人の手などがいないか確認してください。
- 蒸気ノズルは、装着している断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。
- 蒸気を使って飲料を温めた後は、もう一度蒸気を出してノズル内に付着した飲料を除去してください。そのままにしておくと、ノズル内の付着した飲料が固まり不衛生になります。また、故障の原因となります。

### 1 蒸気を出します。

- ① 蒸気ノズルの先がドレンパンに向いていることを確認してください。



- ② 蒸気栓ノブを反時計方向に回してください。  
はじめに蒸気配管内の結露水(熱湯)が勢いよく飛び出します。



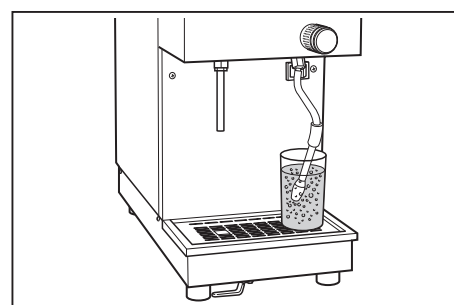
熱湯が勢いよく飛び出しますので、ご注意ください。

- ③ 蒸気が出るようになったら、いったん蒸気栓ノブを時計方向に回してください。  
蒸気が止まります。



### 2 飲料を温めます。

- ① 蒸気ノズルの先を飲料の入ったコップの底まで入れ、ドレンプレートの上に置いてください。
- ② 蒸気栓ノブを反時計方向に回して蒸気を出してください。  
素手でコップを軽く触れてみて、好みの温度になるまで温めてください。

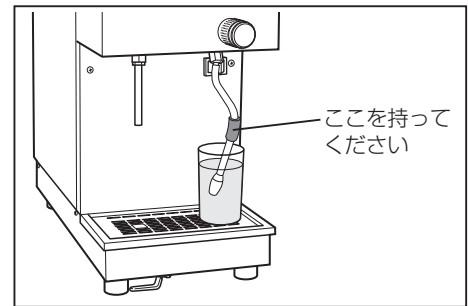


容器は耐熱性のあるものを用意してください。

### 3 蒸気を止めます。

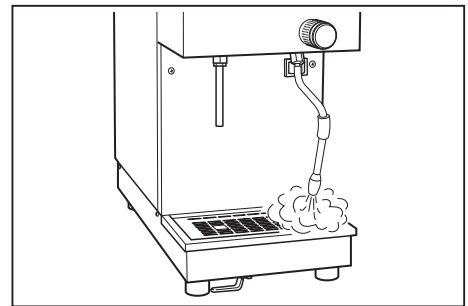
- ① 蒸気栓ノブを時計方向に回して蒸気を止めてください。

蒸気ノズルの断熱ゴムの部分を持って、蒸気ノズルをコップから出してください。

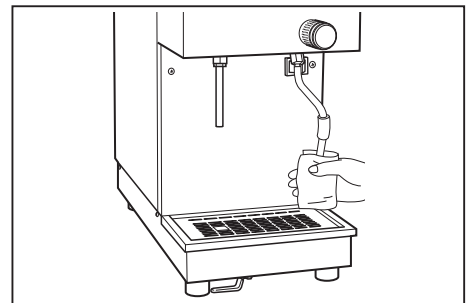


### 4 蒸気ノズルを清掃します。

- ① もう一度蒸気を3秒程度出してください。  
蒸気ノズル内に付着した飲料を除去します。



- ② 蒸気ノズルに付着した飲料を清潔な布で拭き取ってください。





## 泡立てミルクの作りかた

泡立てミルクの作りかたの一例をご紹介します。



- ミルクポットは、上部がすぼまっているものを使用します。
- ミルクはよく冷えているものを使用します。
- 温度は手のひらで覚えるか温度計を使用します。

### 1 ミルクを入れます。

- ミルクポットによく冷えたミルクを入れてください。  
ミルクは半杯分多めに入れてください。  
1杯のときは1.5杯分のミルクを入れてください。  
2杯のときは2.5杯分のミルクを入れてください。



1  
操作のしかた

### 2 蒸気を出します。

- 「蒸気を使って飲料を温める」を参照して、蒸気配管内の結露水(熱湯)を出してください。

### 3 蒸気栓ノブを全開にし、空気を吸い込みます。

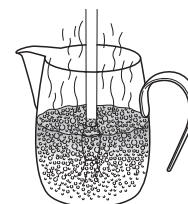
- ノズルの先端をミルクの表面より少し(3～5mm)中に入れて、蒸気栓ノブを全開にしてください。  
蒸気の勢いで水面が少しへこみ、ノズルとミルクの間に隙間ができ、そこから空気が吸い込まれます。(2杯分の場合、4秒前後の目安です。)



蒸気栓ノブを全開にしないと、ミルクに空気を取り入れることができず、ミルクが泡立ちません。

### 4 攪拌します。

- 空気を抱き込んだら、ノズルの頭をミルクの中に完全にいれて攪拌してください。  
このとき含んだ空気を蒸気が細かく分解します。



## 5 蒸気栓ノブを閉じます。

- ① 65～70℃程度になったら、蒸気栓ノブを閉じてください。

素手で軽く触れ、熱くて触れられないくらいの温度になったらできあがりです。







- ② ミルク内に大きな泡を含んでいますので、ミルクポットを回し、テーブルなどに底をたたきつけて、大きな泡を消してください。




# 2

## お手入れについて

この章では、本機のお手入れについて説明します。

### 本機の洗淨・清掃時には必ず守ってください

 <b>警告</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタの無いように刃の根元まで確実に差し込むこと ほこりが付着していたり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。</li> </ul>	 点検清掃
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体に直接水をかけないこと 漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。</li> </ul>	 水掛け禁止
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 濡れた手で電源プラグなどの(電源プラグ使用の場合)電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと 感電の原因になることがあります。</li> </ul>	 濡手禁止

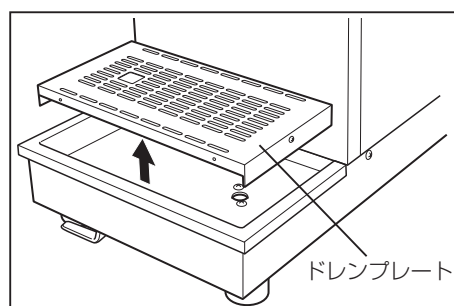
 <b>注意</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを切り、本機専用電源も『OFF(切)』にすること 感電したりケガの原因になることがあります。</li> </ul>	 専用電源切
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと 必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。</li> </ul>	 禁止

## 毎日の洗浄・清掃

### ドレンプレート、ドレンパンの洗浄

#### 1 ドレンプレートを本体から取り外して洗浄します。

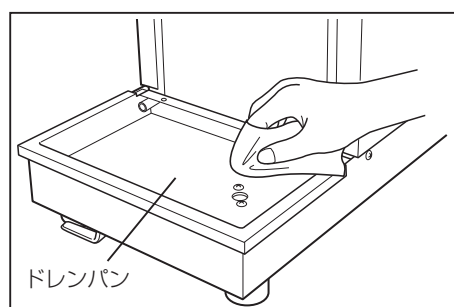
- ① ドレンプレートを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯で丁寧に洗ってください。
- ② その後、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。
- ③ 乾いた布で水分を拭き取ってください。



蒸気ノズルを上げて作業した後は、忘れずに元の位置(ドレンパンに向ける)に下ろしておいてください。  
誤って蒸気栓ノブが回ると、やけどの原因になります。

#### 2 ドレンパンを洗浄します。

- ① ドレンパンを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯を含ませた布などで拭いてください。
- ② その後、きれいな水でしぼった布で拭いてください。
- ③ 乾いた布で水分を拭き取ってください。



熱湯を取り出して、ドレンパンの洗浄を行わないでください。やけどの原因となります。

## 本体外装の清掃

### 1 本体外装を清掃します。

- 本体の外装は、中性洗剤を使用します。

柔らかい布で丁寧に拭いた後、きれいな水でしぼった布を使用して洗剤成分が残らないように拭き取ってください。



本体に直接水をかけないでください。本体に直接水をかけると、漏電、ショート、感電、錆、故障などの原因になります。

# 3

## プログラムモードについて

この章ではプログラムの content と設定のしかたについて説明します。

### プログラムの概要

本機は、5種類ある熱湯定量取出スイッチを押したときの、お湯の取出量を設定できます。また5種類ある熱湯定量取出スイッチと熱湯フリー取出スイッチを押したときのお湯の温度を設定できます。

#### ●プログラムモードで設定できる項目

プログラムモードで設定できる項目は、次のとおりです。

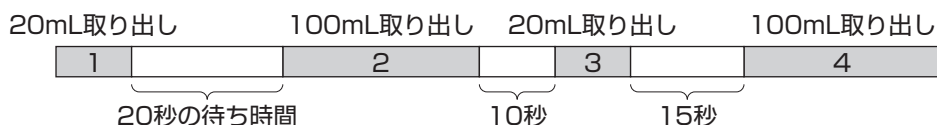
##### ●熱湯定量取出スイッチを押したときの湯量

熱湯定量取出スイッチ1～5のいずれかを押したときのお湯の取出量を設定できます。

##### ●熱湯の分割取出

熱湯定量取出スイッチ1～5に対して、それぞれ最大4回に分けてお湯を取り出すプログラムを設定できます。

取出例)



##### ●熱湯温度

お湯の温度を設定します。





### 操作スイッチパネルについて

プログラムモードの場合の操作スイッチパネルの動きは次のようになります。

	プログラムモード	通常モード
プログラムスイッチ	次の設定項目へ移ります。	プログラムモードへ移行します。
エンタースイッチ	設定内容を確定します。	使用しません。
スイッチ	設定値を大きくします。	使用しません。
スイッチ	桁を移動します。	使用しません。

## 熱湯定量取出スイッチの工場出荷時設定

熱湯定量取出スイッチを押したときの工場出荷時設定は次のとおりです。

熱湯定量取出スイッチ1 	100mLのお湯が出ます。
熱湯定量取出スイッチ2 	200mLのお湯が出ます。
熱湯定量取出スイッチ3 	300mLのお湯が出ます。
熱湯定量取出スイッチ4 	400mLのお湯が出ます。
熱湯定量取出スイッチ5 	500mLのお湯が出ます。

## 熱湯の取出量について

プログラムを設定するうえで、次の点にご注意ください。

- 本製品の熱湯取出量精度は±5mLです。
- 30mL以上の取出量で設定することをおすすめします。
- 1～999mLの範囲で取出量を設定できます。
- 一度に大量のお湯(例：水道温度20度で900mLを連続して取り出した場合)を取り出すと、加熱を開始するため、再びお湯が取り出せるまで90秒程度必要です。

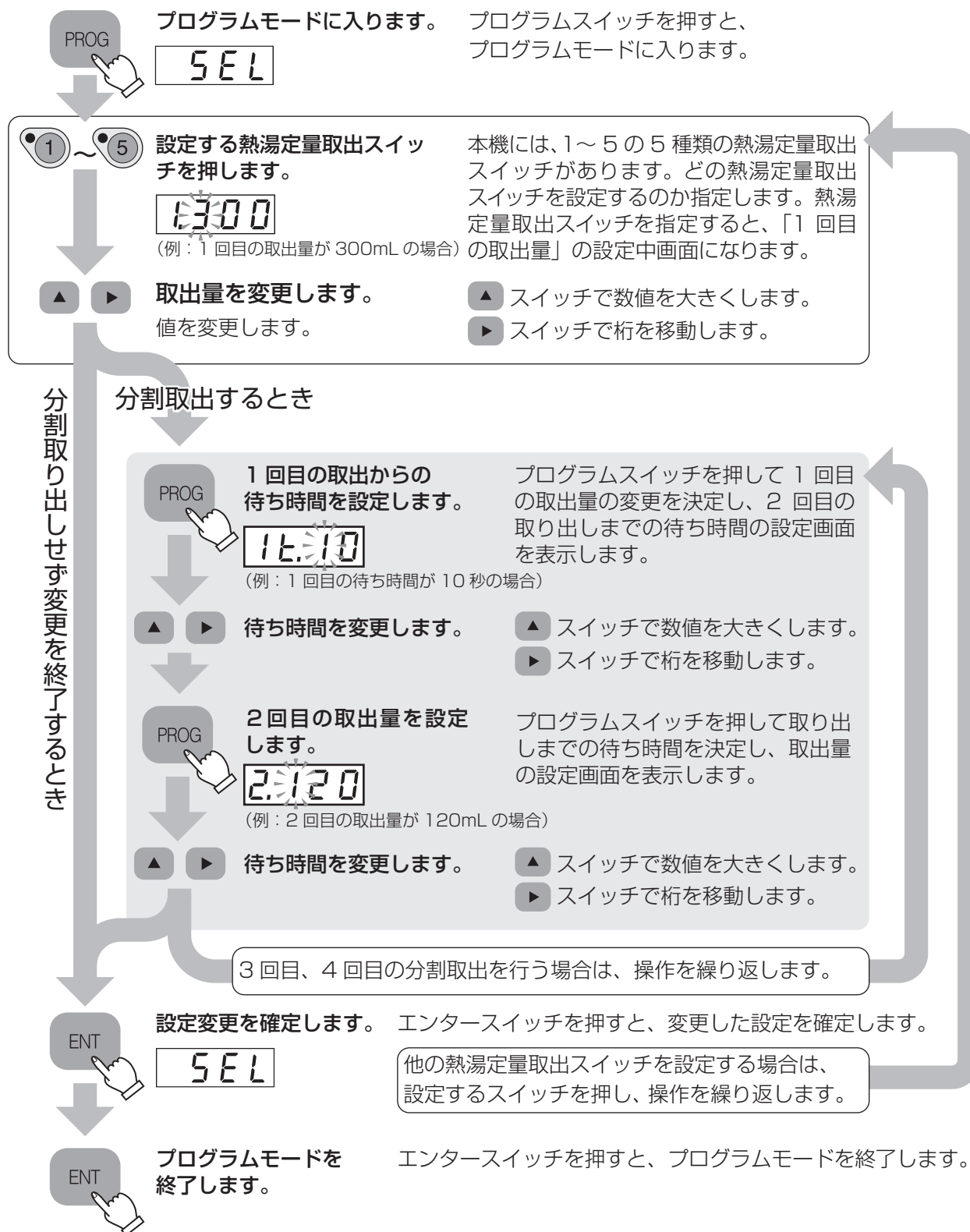
## 好みのプログラムを設定する

プログラムは、5種類ある熱湯定量取出スイッチにお湯の取出量を設定できます。

1回の取出量は、1～999mLまで設定できます。

プログラムの設定はプログラムモードで行います。

プログラムモードは以下のような構成になっています。





## 1 回だけお湯を取り出すプログラムを設定する

### 1 プログラムモードに入ります。

- プログラムスイッチを押してください。



### 2 設定する熱湯定量取出スイッチを押します。

- 設定する熱湯定量取出スイッチを押してください。  
押した熱湯定量取出スイッチの「1回目の取出量」の設定中状態になります。



ディスプレイに「1回目の取出量」の値を表示します。  
現在のカーソル位置が点滅します。



例：1回目の取出量が300mLの場合

### 3 設定を変更します。

- ▲ スイッチや ► スイッチを押して、取出量を変更してください。  
数値を大きくする場合は、▲ スイッチを押します。  
桁を移動する場合は、► スイッチを押します。  
単位はmLです。  
本製品の熱湯取出量精度は±5mLです。  
30mL以上の取出量で設定することをおすすめします。  
1 ~ 999mLの範囲で取出量を設定できます。

ディスプレイに値を表示します。



1回目であることを  
あらわします。

300mLであることを  
あらわします。

## 4 設定の変更を確定します。

- エンタースイッチを押してください。  
これで、熱湯定量取出スイッチの設定が保存されました。



SEL



他の熱湯定量取出スイッチの設定を変更する場合は、エンタースイッチを押した後、手順2の「設定する熱湯定量取出スイッチを押します」に戻って設定を変更してください。

## 5 プログラムモードを終了します。

- エンタースイッチを押してください。  
これで、プログラムモードを終了します。



ディスプレイには、現在の本機の状態が表示されます。

3. 90

または

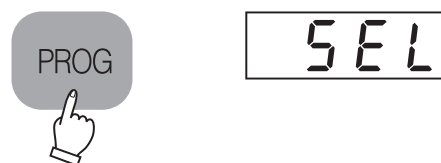
3. .

温水タンクが昇温中  
の場合

## 分割してお湯を取り出すプログラムを設定する

### 1 プログラムモードに入ります。

- プログラムスイッチを押してください。



### 2 設定する熱湯定量取出スイッチを押します。

- 設定する熱湯定量取出スイッチを押してください。  
押した熱湯定量取出スイッチの「1回目の取出量」の設定中状態になります。



ディスプレイに「1回目の取出量」の値を表示します。  
現在のカーソル位置が点滅します。



例：1回目の取出量が300mLの場合

### 3 設定を変更します。

- ▲ スイッチや ► スイッチを押して、取出量を変更してください。  
数値を大きくする場合は、▲ スイッチを押します。  
桁を移動する場合は、► スイッチを押します。  
単位はmLです。

ディスプレイに値を表示します。  
本製品の熱湯取出量精度は±5mLです。  
30mL以上の取出量で設定することをおすすめします。  
1～999mLの範囲で取出量を設定できます。

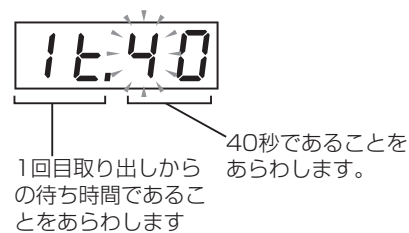


### 4 2回目以降の取り出しについて設定します。

- ① プログラムスイッチを押してください。  
待ち時間の設定画面を表示します。



- ② ▲スイッチや ▶スイッチを押して、次の取り出しまでの待ち時間を設定してください。  
 数値を大きくする場合は、▲スイッチを押します。  
 桁を移動する場合は、▶スイッチを押します。  
 単位は秒です。



- ③ プログラムスイッチを押してください。  
 取出量の設定画面を表示します。

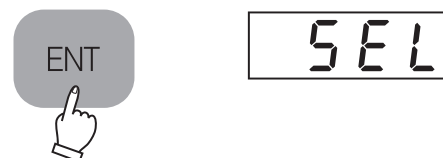


- ④ ▲スイッチや ▶スイッチを押して、取出量を設定してください。  
 数値を大きくする場合は、▲スイッチを押します。  
 桁を移動する場合は、▶スイッチを押します。  
 単位はmLです。  
 本製品の熱湯取出量精度は±5mLです。  
 30mL以上の取出量で設定することをおすすめします。  
 1～999mLの範囲で取出量を設定できます。

- ⑤ 3回目や4回目の分割取出が必要な場合は、手順①から④を繰り返してください。

## 5 設定の変更を確定します。

- エンタースイッチを押してください。  
 これで、熱湯定量取出スイッチの設定が保存されました。



他の熱湯定量取出スイッチの設定を変更する場合は、エンタースイッチを押した後、手順2の「設定する熱湯定量取出スイッチを押します」に戻って設定を変更してください。

## 6 プログラムモードを終了します。

- エンタースイッチを押してください。  
これで、プログラムモードを終了します。



ディスプレイには、現在の本機の状態が表示されます。



または



温水タンクが昇温中  
の場合

## 熱湯温度を変更する

熱湯ノズルから取り出す熱湯の温度を変更できます。

工場出荷時の設定では、熱湯温度は90℃に設定されています。必要に応じて変更してください。



熱湯温度はプログラム上999℃まで設定が可能ですが、98℃未満に設定してください。98℃以上に設定すると、本機は沸騰状態になり蒸気が発生して、非常に危険です。



- 温水タンクのお湯の温度が設定温度より5℃下回ると、熱湯定量取出スイッチや熱湯フリー取出スイッチを押してもお湯が取り出せなくなります。
- 連続して大量にお湯を取り出した後などは温水タンクのお湯の温度が下がるため、お湯を取り出せなくなる場合があります。
- 温水タンクの水が設定温度に達するまでお待ちください。

### 1 プログラムモードに入ります。

- プログラムスイッチを押してください。



### 2 熱湯フリー取出スイッチを押します。

- 熱湯フリー定量取出スイッチを押してください。  
現在の熱湯設定温度が表示されます。



### 3 熱湯温度を変更します。

- ▲スイッチや ►スイッチを押して、熱湯温度を変更してください。  
数値を大きくする場合は、▲スイッチを押します。  
桁を移動する場合は、►スイッチを押します。  
単位は℃です。



### 4 設定の変更を確定します。

- エンタースイッチを押してください。  
これで、熱湯温度が変更されました。



## 5 プログラムモードを終了します。

- エンタースイッチを押してください。  
これで、プログラムモードを終了します。



ディスプレイには、現在の本機の状態が表示されます。



または



温水タンクが昇温中  
の場合

# 4

## 据え付けについて

### 本機の据付時には必ず守ってください

 <b>警告</b>	
<p>● 据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼すること ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災の原因になります。</p>	 専門業者
<p>● アース工事を必ず行うこと アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。 (電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)</p>	 アース工事
<p>● 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること 電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。</p>	 専用電源
<p>● 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること 電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になることがあります。</p>	 電気工事
<p>● 屋外で使用しないこと 雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。</p>	 屋外禁止
<p>● 湿気の多い所や、水のかかりやすい場所に据え付けないこと 絶縁低下から漏電、感電の原因になります。</p>	 湿気禁止
<p>● 電源コードを傷つけないこと 加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。</p>	 禁止



 <b>注 意</b>	
<p>● 床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること</p> <p>据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。</p>	 水平据付
<p>● 機械左右の側面は、壁および物から100mm以上、背面は50mm以上空けること</p> <p>熱がこもると、電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になることがあります。</p>	 周囲を空ける
<p>● 直射日光の当たる所や、周囲の温度が32℃を超える高温の場所には据え付けないこと</p> <p>電気部品の故障の原因になります。</p>	 高温禁止
<p>● 水をこぼしてもよい所に据え付けること</p> <p>使用中にお湯や蒸気が周囲に飛び散ることがありますので、濡れると不都合なところでは、防水処置をしてください。</p>	 防水処置
<p>● 給水に使用する水は、必ず飲料水を使用すること</p> <p>他の水は、健康障害の原因になることがあります。</p>	 飲料水
<p>● 水道圧力は、流れている状態で0.15MPa以上で使用する</p> <p>水道圧力が低いと、機械は正常に動作しません。0.15MPa未満の場合は、お買い上げ店にご相談ください。</p>	 適正水道圧力
<p>● 凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと</p> <p>機械の故障の原因および、給水管の破裂から浸水し、周囲を濡らす原因になることがあります。</p> <p>凍結の恐れのある場所への据え付けの場合は、お買い上げ店にご相談ください。</p>	 相談

## 据付工事

### 配管用部品

下記の配管付属品がそろっているか確認してください。

- ・ステンレスフレキシブルホース(排水用 1.5m) ..... 2本
- ・ステンレスフレキシブルホース(給水用 1.5m) ..... 1本
- ・ステンレスフレキシブルホース(給水用 0.5m) ..... 1本
- ・ニップル ..... 1個
- ・オスメスエルボ1/2 ..... 1個

下記は別売品となります。

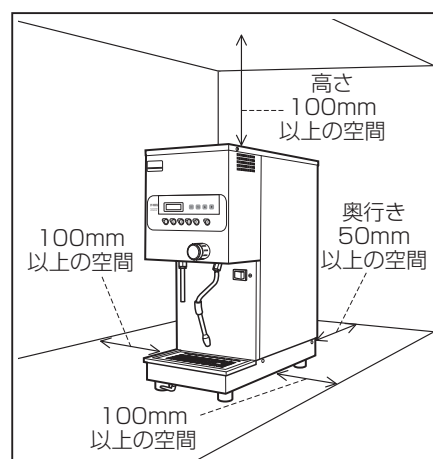
- ・減圧弁(1.5MPa) ..... 1個
- ・ニップル ..... 1個
- ・浄水器ヘッド(エバピュアQC7型 異径ニップル3/8×1/2付) ..... 1個
- ・浄水器カートリッジ(7CB5-S) ..... 1個
- ・ステンレスフレキシブルホース(給水用 1.5m) ..... 1本

### 据付台

- 本機の端から、左右100mm以上、奥行き50mm以上、高さ100mm以上の空間が必要です。

- 据付台の下には、浄水器や配管設備のスペースが必要になります。

目安として、本機と同等のスペース(面積)を確保してください。



## 据付場所

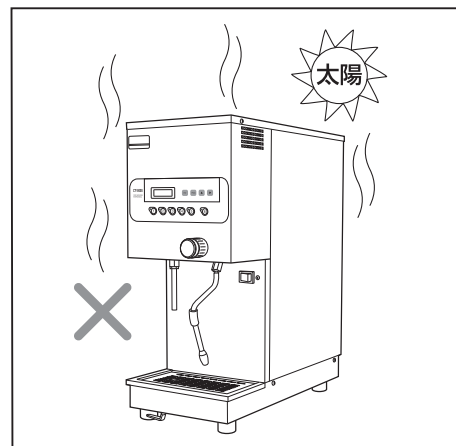
据え付ける場所として、次のことに注意してください。

- 水平で丈夫なカウンターまたは調理台に、操作スイッチパネル部が正面になるように据え付けてください。

カウンターが傾斜していたり、据え付けに不備があると、転倒したり落下する恐れがあります。

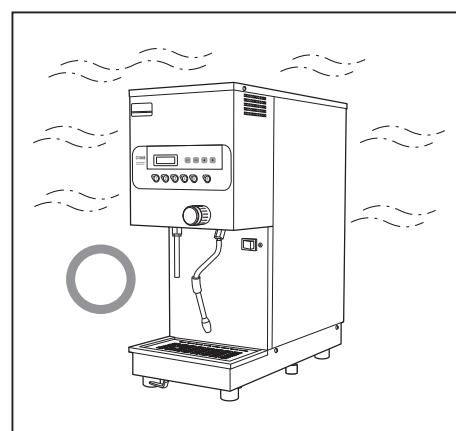
- 直射日光の当たる場所や、本機の周囲温度が32℃を超える高温の場所には据え付けしないでください。

高温になると、電気部品の故障の原因となります。



- 風通しの良い場所に据え付けてください。

風通しが悪いと、熱気がこもり、本機の寿命を短くしたり漏電の原因となります。

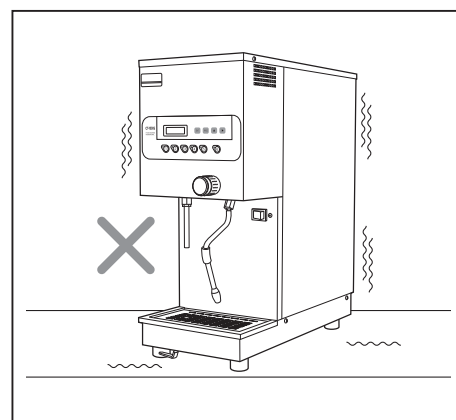


- 水をこぼしてもよい場所へ据え付けてください。

使用中に、お湯や蒸気などの水分が周囲に飛び散ることがあります。水をこぼすと不都合な場所では、防水処置を行ってください。

- 凹凸のない据付台へ、水平になるように据え付けてください。

- 振動のない場所へ据え付けてください。



## 水道

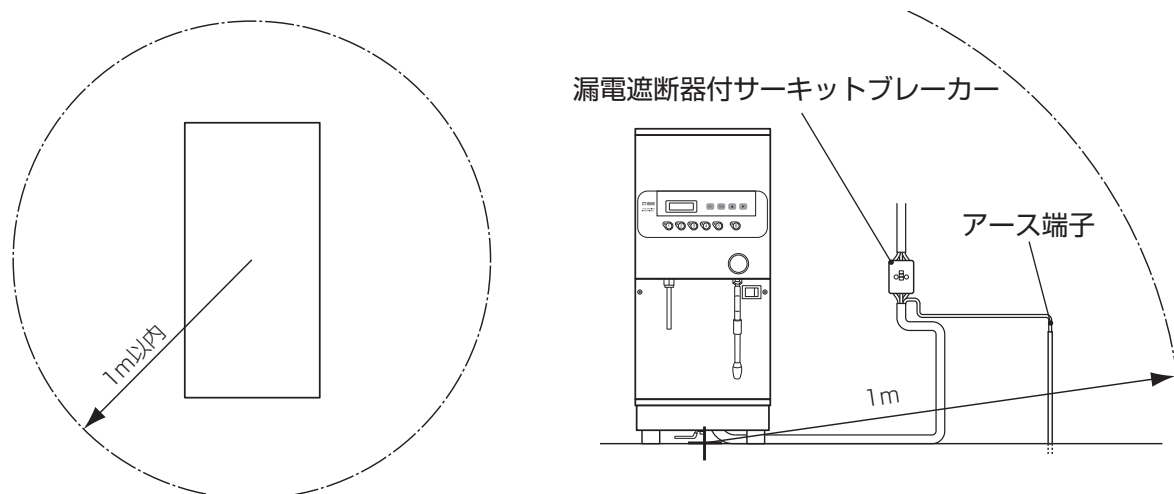
- 水道栓は、別売のステンレスフレキシブルホースが取り付けられるように、コックの先に「G1/2オスネジ」付きのものを用意してください。
- 水道圧力は、流れている状態で0.15MPa以上が必要です。  
0.15MPa未満では、本機の調整が必要になります。お買い上げ店にご連絡ください。
- 給水に使用する水は、必ず飲料水を使用してください。  
飲料水以外の水を使用すると、健康障害の原因となります。
- 水が凍結する場所へは据え付けないでください。  
破裂した給水管から本機へ浸水し故障の原因となります。また本機周辺が濡れる原因となります。  
寒冷地など、凍結の可能性のある場所へ据え付ける場合は、お買い上げ店にご相談ください。

## 電源

- 電気設備容量  
単相200V 50/60Hz 3kVA 15A（ブレーカー容量20A）
- 電気工事は、『電源設備に関する技術基準』、『内線規定』にしたがって施工し、必ず専用回路を使用してください。  
電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因となります。
- 電源は、必ず専用の漏電遮断器付サーキットブレーカー、もしくはそれと同様の設備に直接接続してください。
- 電源コードを電源設備に接続するときに電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず、少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください。
- アース端子は必ず設けてください。  
アースは、D種接地工事が必要です。電気工事店に工事を依頼してください。  
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線へ接続しないでください。  
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。  
アース線は電源コードにある緑色の線です。

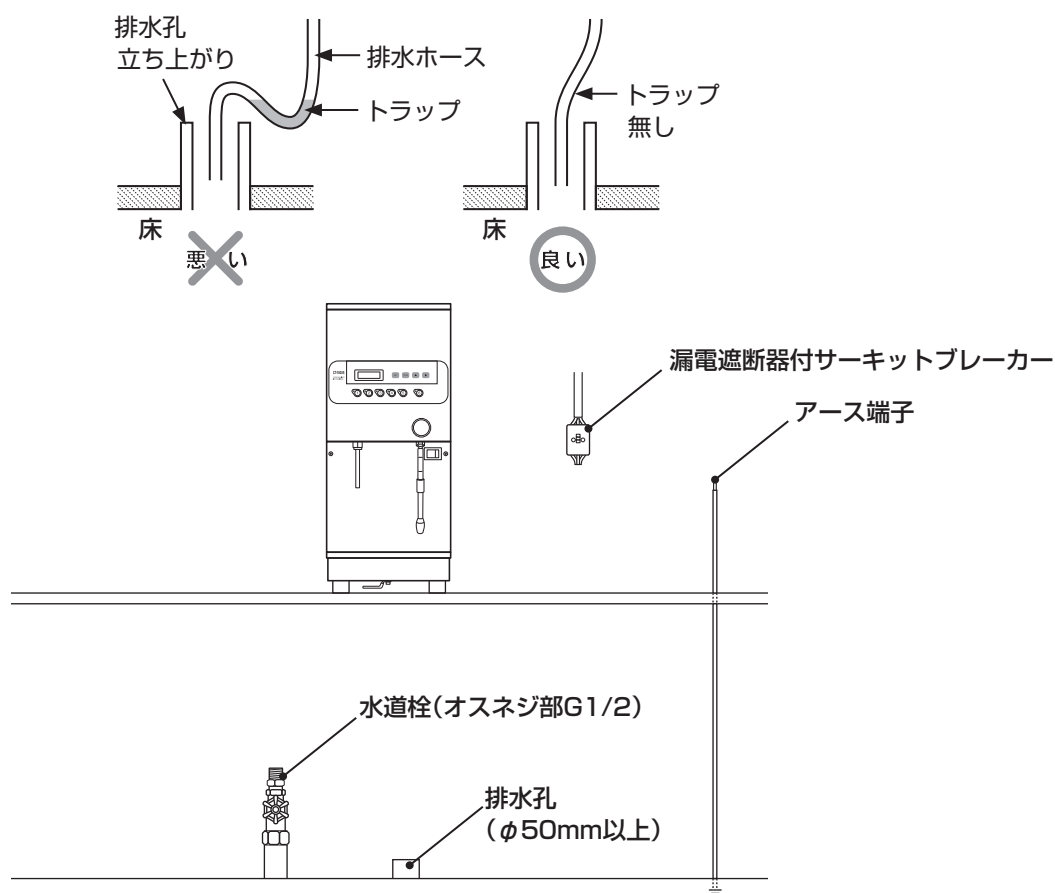
- 電源に近いところ(できれば1m以内)へ据え付けてください。

電源コードの長さは約2mです。



## 排水について

- 排水孔、または排水溝は、機械の近くの低いところに設けてください。
- 排水孔の大きさは、直径50mm以上にしてください。
- 排水孔の立ち上がりは、できるだけ低くしてください。立ち上がりが高くと、トラップが発生して排水できません。
- 熱湯を流すことがありますので、耐熱性のある排水設備を設けてください。



4

据え付けについて

## 据え付け

### レイアウト

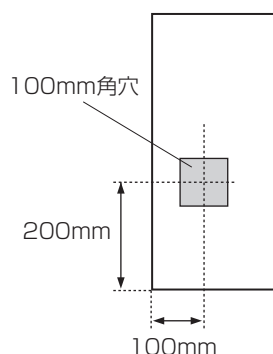
#### ●据付台に配管穴をあける据え付け方法

据付台には、平面図に記載の寸法で穴をあけ、正面図のように配線および配管をしてください。

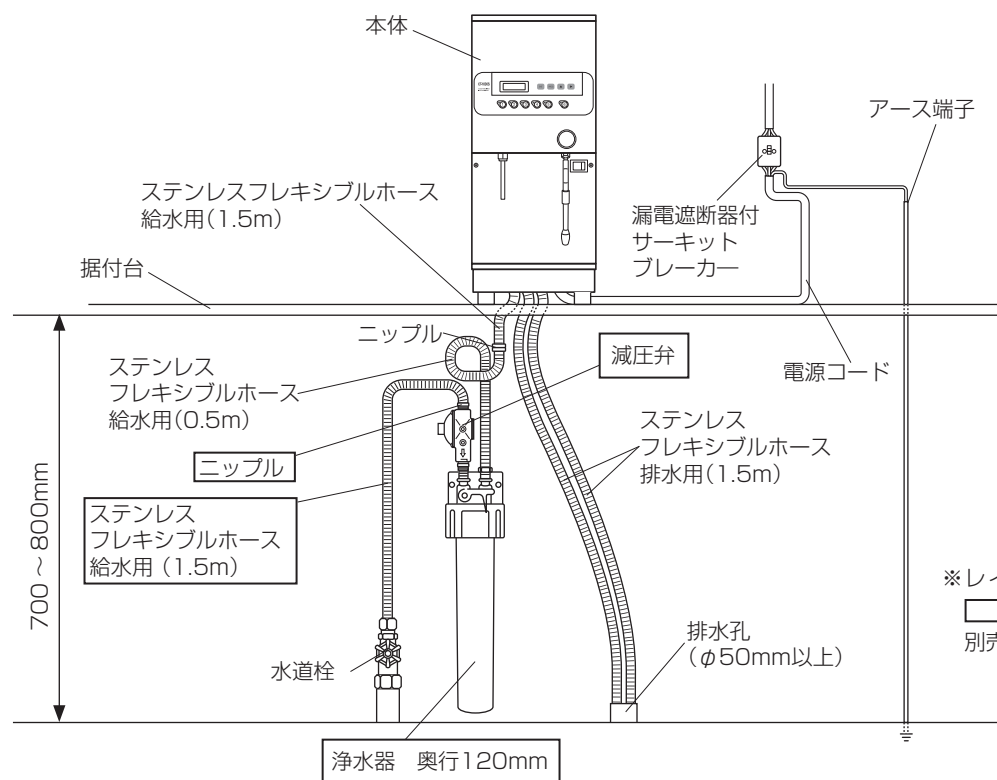


排水用のステンレスフレキシブルホースは、できるだけ傾斜を大きくとるようにしてください。  
絶対にトラップをつくらないようにしてください。

#### ●平面図



#### ●正面図



※レイアウト図中の  
□で囲んだ部品は  
別売品となります。

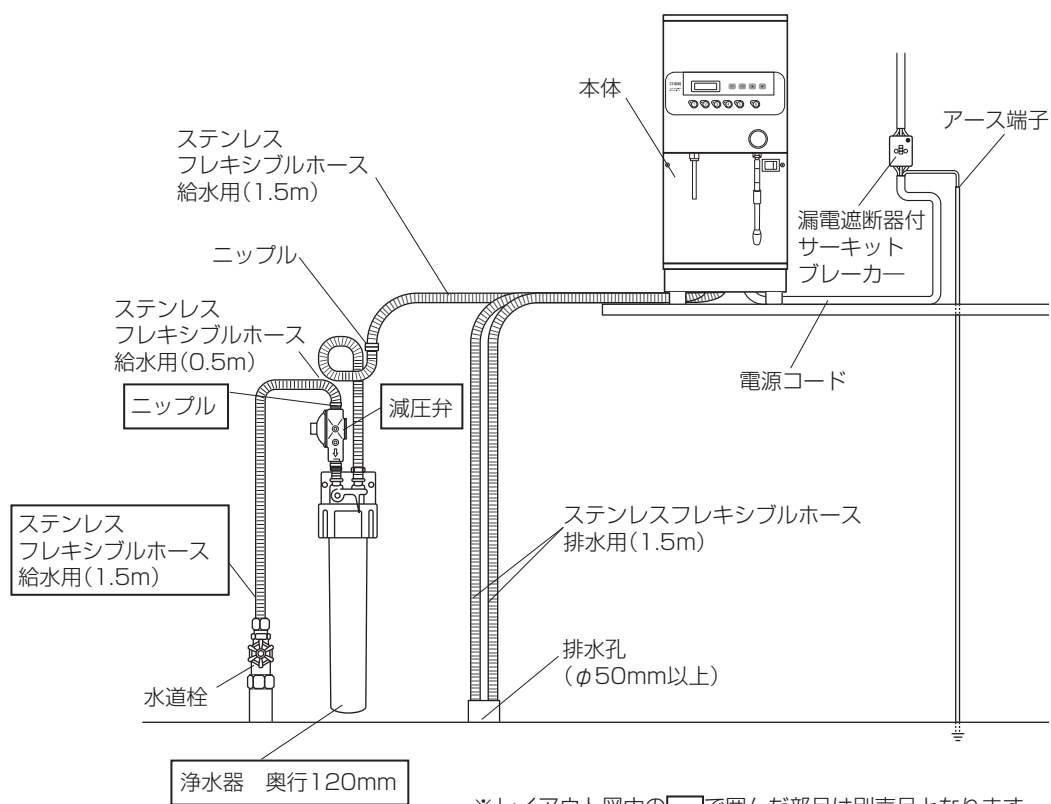
### ●据付台に配管穴があけられない場合の据え付け方法

据付台に穴加工ができない場合の据え付け方法です。

据付台に本機を据え付け、給水用のステンレスフレキシブルホースを浄水器へ取り付けます。



排水用のステンレスフレキシブルホースは、できるだけ傾斜を大きくとるようにしてください。  
絶対にトラップをつくらないようにしてください。



## 据付・接続

全体のレイアウトが決定したら、次に据付・接続を行います。

### 1 浄水器(別売品)を取り付けます。



浄水器は必ず取り付けてください。浄水器を取り付けないと味に影響を与えます。また水道水内のゴミなどにより、本機が故障する原因となります。



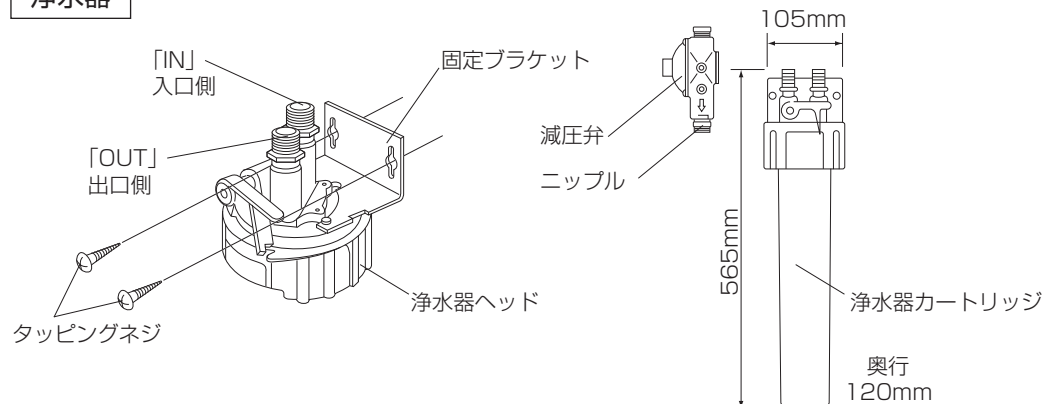
条件により異なりますが、半年または1年毎に浄水器のカートリッジを交換してください。交換については、お買い上げ店にご相談ください。

① 浄水器ヘッドの固定ブラケットを、据付台下の壁面へタッピングネジや釘で取り付けてください。

② 浄水器カートリッジを浄水器ヘッドに取り付けてください。

浄水器カートリッジの取り付け方や取り外し方については、カートリッジに同梱されている取扱説明書を参照してください。

浄水器



### 2 浄水器内部を洗浄します。



本機に接続する前に、浄水器内部を洗浄します。洗浄前は本機に接続しないでください。

① 水道栓と、浄水器「IN」側をステンレスフレキシブルホース(1.5m)で接続してください。

② 浄水器「OUT」側に減圧弁の「IN」側をねじ込んで取り付けてください。

③ 減圧弁の「OUT」側にステンレスフレキシブルホース(0.5m)を接続してください。

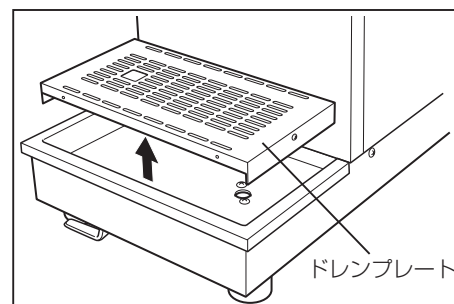
④ 手順③で接続したステンレスフレキシブルホース(0.5m)と、ステンレスフレキシブルホース(1.5m)をニップルで接続してください。



- ⑤手順④で接続したステンレスフレキシブルホース(1.5m)のもう一方の端を、排水孔や排水溝など、排水できる場所へ差し込んでください。
- ⑥水道栓を開き、約3分間ほど水を出してください。  
内部のゴミやホコリなどを洗い流します。  
これで、浄水器内部を洗浄できました。

### 3 配管のため、ドレンパンや下部前板を取り外します。

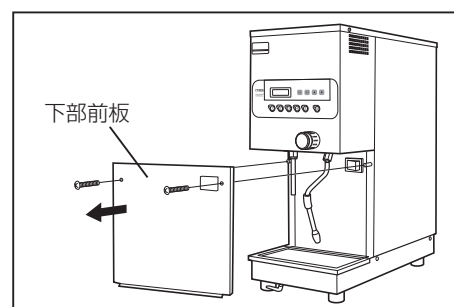
- ①ドレンプレートを取り外してください。



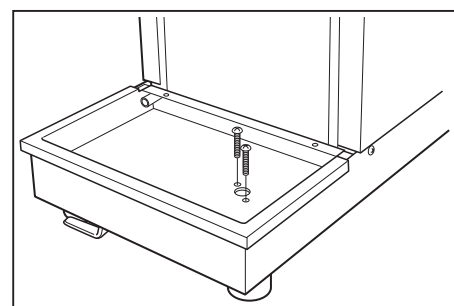
- ②固定している2本のネジを取り外し、下部前板を取り外してください。



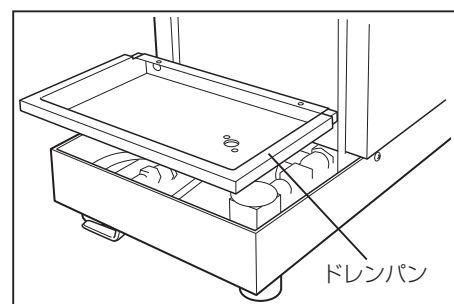
下部前板は、ネジを取り外した後上側を手前に引いて斜めの状態にし、左または右から前板を抜き取るようにすると、取り出しやすくなっています。



- ③ドレンパンを固定している2本のネジを取り外してください。



- ④ドレンパンを取り外してください。



## 4 給水の配管をします。

- 内部の洗浄が終わった浄水器の「OUT」側の減圧弁から接続されているステンレスフレキシブルホース(1.5m)を、本機背面の給水口に接続してください。

### 注意！

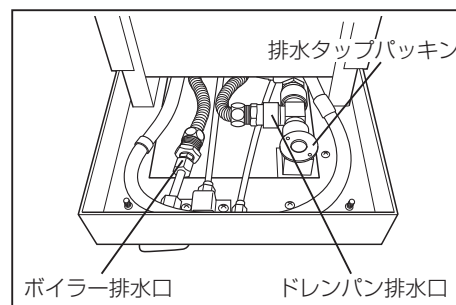
配管の際は、ネジ部を必要以上に締め付けずに、水が漏れない程度にしてください。

## 5 排水の配管をします。

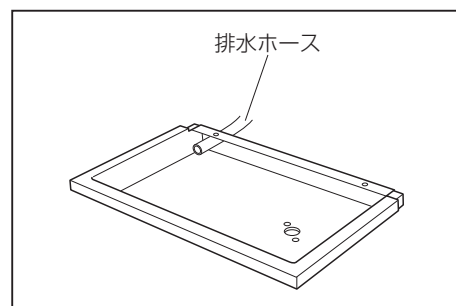
- ① ボイラー排水口とドレンパン排水口に、それぞれステンレスフレキシブルホース(1.5m)を接続し、もう一方の端を排水孔(または排水溝)に差し込んでください。

### 注意！

配管の際は、ネジ部を必要以上に締め付けずに、水が漏れない程度にしてください。

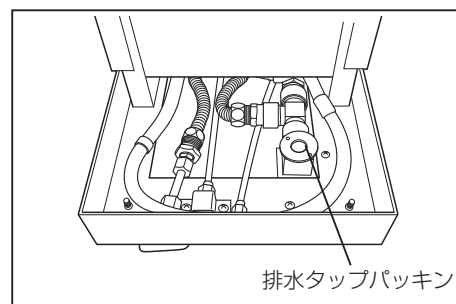


- ② ドレンパンに本体内部から出ている排水ホース(向かって左側)をドレンパンの穴に差し込んでください。排水ホースを差し込む際は、ドレンパンの深さの約半分まで入れるようにしてください。

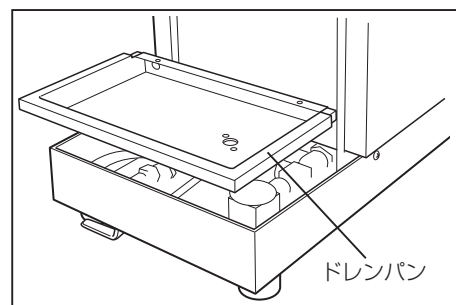


## 6 ドレンパンや下部前板を取り付けます。

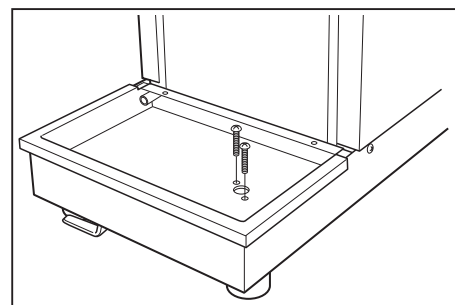
- ① 排水タップパッキンが付いているか、確認してください。



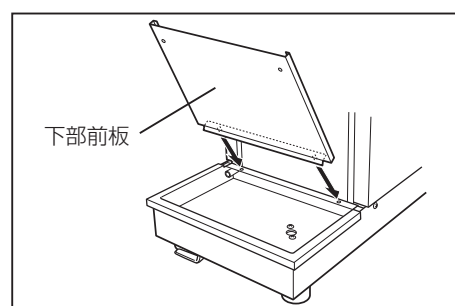
- ② ドレンパンを取り付けてください。



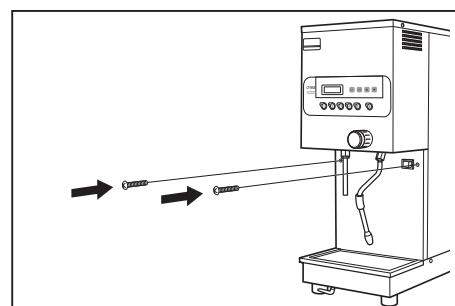
③ 2本のネジでドレンパンを固定してください。



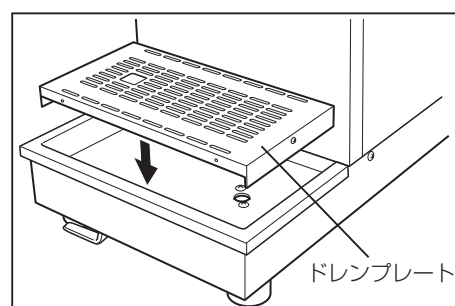
④ ドレンパンにある2つの穴に注意しながら、下部前板を取り付けてください。



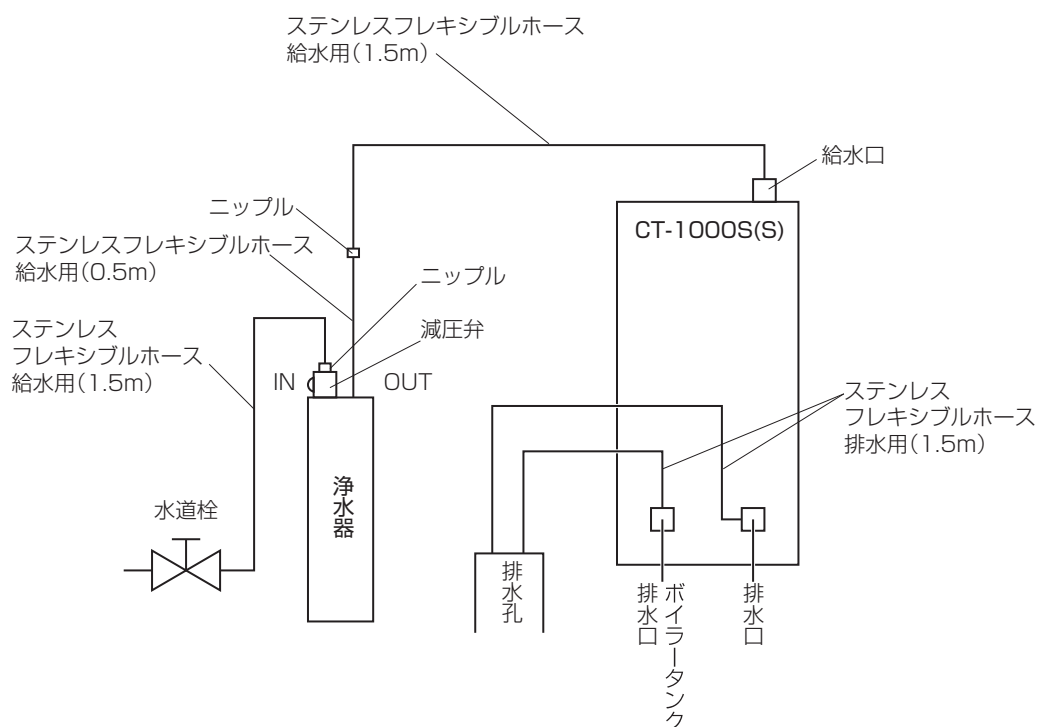
⑤ 下部前板を2本のネジで固定してください。



⑥ ドレンプレートを取り付けてください。



給排水の接続は次のようになります。



## 5 配線をします。

- ① 電源コードを専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーなどに直接接続します。
- ② アース線(緑色の線)をアース端子に接続します。

## 6 配管部に水漏れがないか確認します。

全ての接続が完了したら、水道の元栓を開け、配管部分に水漏れがないか確認してください。

メモ

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

## 据え付け後の動作確認

据え付け後は、正しく据え付けできたか動作確認を行ってください。

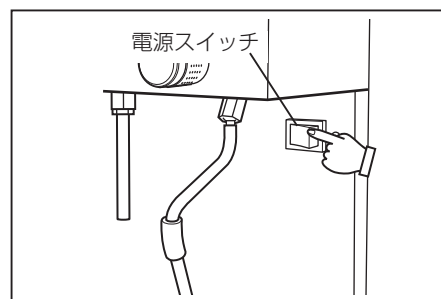
**1** 水道の元栓が開いていることを確認します。

**2** 本機専用電源(漏電遮断器付サーキットブレーカー)を入れます。

**3** 電源スイッチをONにします。

- ①** 本体右側にある電源スイッチをONにしてください。  
自動的に温水タンクとボイラータンクへの給水が行われます。

給水時間は約3分です。



温水タンクとボイラータンクが満水になるとヒーターが入り、加熱を開始します。

温水タンク(熱湯用)の昇温には、約10分かかります。  
ボイラータンク(蒸気用)の昇温には、約30分かかります。

(昇温は水温により多少異なります。)

ディスプレイに表示されている「**3**」は、昇温中であることを表示します。

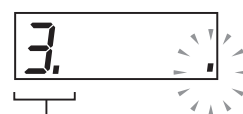
ディスプレイの左側の一桁の数字は、ボイラータンク内の水位の状態を表示します。

0：ボイラータンク内の水位が適量範囲に達していません。

1：ボイラータンク内の水位が適量です。

3：ボイラータンク内の水位が適量範囲の上限に達しています。

機械の使用中は、1または3を表示しています。



ボイラータンク内の  
水位の状態を表示

- ②** 温水タンクの昇温が完了すると、ディスプレイに設定温度が表示され、熱湯の取り出しが可能になったことを表します。

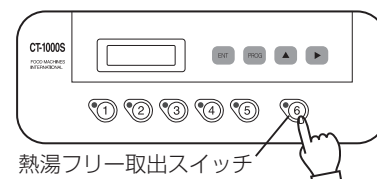
これでお湯の取り出しが可能になりました。



工場出荷時の設定温度

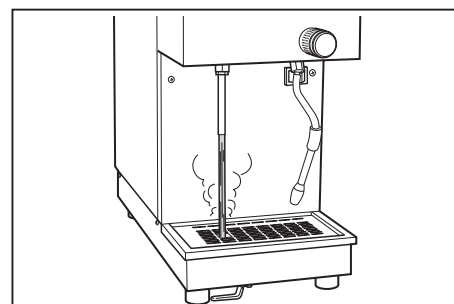
## 4 お湯を取り出します。

- ① 熱湯フリー取出スイッチを押してください。



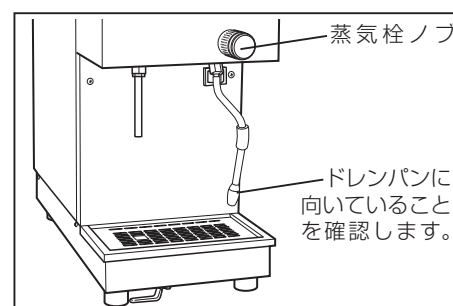
- ② 熱湯が取り出せるか確認してください。

- ③ ドレンパンに落としたお湯がスムーズに排水されるか確認してください。

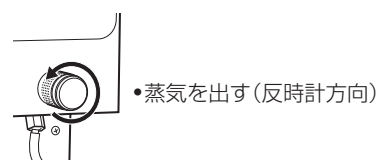


## 5 蒸気を出します。

- ① 蒸気ノズルの先がドレンパンに向いていることを確認してください。



- ② 蒸気栓ノブを反時計方向に回してください。  
はじめに蒸気配管内の結露水(熱湯)が勢いよく飛び出します。  
蒸気ノズルから蒸気が出てくるか確認してください。



- ③ 蒸気が出るようになったら、蒸気栓ノブを時計方向に回してください。  
蒸気が止まります。



これで据え付け完了です。

# 5

## 故障の原因と対策

故障かな？と思ったときは、このページをお読みください。

トラブルが解消されない場合は、本機の電源をOFFにして、お買い上げ店に連絡してください。

### ●電源が入らない

- ブレーカーが入っていますか？
- 電源スイッチはONになっていますか？

### ●お湯や蒸気を取り出せない

- 温水タンクやボイラータンクは昇温できていますか？

電源をONにした直後などは、まだ十分に昇温できていません。

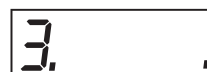
温水タンクとボイラータンクが満水になるとヒーターが入り、加熱を開始します。

温水タンク(熱湯用)の昇温には、約10分かかります。

ボイラータンク(蒸気用)の昇温には、約30分かかります。

(昇温は水温により多少異なります。)

ディスプレイに、右のように表示がある場合、昇温中であることをあらわします。



- ディスプレイに表示されている数字が、1または3と表示されていますか？

0と表示されている場合は給水中です。お待ちください。

2と表示されている場合は、本機が故障しています。お買い上げ店にご連絡ください。

- 熱湯を使いすぎていませんか？

温水タンクのお湯の温度が設定温度より5℃下回ると、熱湯定量取出スイッチや熱湯フリー取出スイッチを押してもお湯が取り出せなくなります。

連続して大量にお湯を取り出した後などは温水タンクのお湯の温度が下がるため、お湯を取り出せなくなる場合があります。この場合は、温水タンクのお湯が設定温度になるまで、お待ちください。

### ●ドレンパンから蒸気が吹き出してくる

- 設定している熱湯温度が高すぎていませんか？

熱湯温度はプログラム上999℃まで設定が可能です。98℃未満に設定してください。

98℃以上に設定すると、本機は沸騰状態になり蒸気が発生して非常に危険です。98℃以上に設定されている場合は、熱湯温度の設定を98℃未満に設定変更してください。

### ●給水されない

- 水道栓は開いていますか？
- 配管に詰まりはありませんか？
- 水道圧力は流れている状態で0.15MPa以上ありますか？

ディスプレイ左側の数字がいつまでも0のままで数字が変わらないようであれば、給水されていません。お買い上げ店にご連絡ください。



メモ

Handwriting practice area with horizontal dashed lines.

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

# エフ・エム・アイ商品保証書

《本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうこととお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。》

## 保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。  
その期間は、1年間有効とし、機器本体を対象とします。

## 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店が「**無料修理**」いたします。
- 無料修理を受ける場合は、お買上げ店にご依頼のうえ、出張修理に際しまして本書をご提示ください。
- 保証期間内でも次の場合には「**有料修理**」となります。
  - ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷
  - 火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
  - 車輛、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
  - お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
  - 本書の提示がない場合。
  - 本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
  - 指定外の使用電源(電圧、周波数)の使用による故障および損傷。
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。
  - 消耗部品(Oリング、パッキン、チューブ)は、保証の対象範囲から除外させていただきます。

※ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

## 修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)

当社では、本製品の修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)を販売打ち切り後8年とさせていただきます。修理対応期間(補修用性能部品の保有期間)を終了している場合は、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

品名	熱湯・蒸気ユニット		
型式	CT-1000S(S)	製造番号	
お客様	ご芳名	様	
	ご住所	〒 TEL. ( )	
お買上げ店	店名・住所		
お買上げ日	年 月 日	無料修理保証期間	お買上げ日より1年間

# 株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>